

活用編

活用編 もくじ

活用編 もくじ.....	1
本書をお読みになる前に	3
1章 パソコンの機能を活用する.....	4
1 テレビや外部ディスプレイを接続する.....	4
1 HDMI®出力端子に接続する／取りはずす	4
2 RGBコネクタに接続する／取りはずす	7
3 表示を切り替える.....	8
2 サウンド.....	9
1 スピーカーの音量を調整する.....	9
2 マイクやヘッドホンを接続する	11
3 CD／DVDを使うードライブー.....	13
1 使えるCD／DVDについて	13
2 DVDの映画や映像を見る.....	14
3 CD／DVDをセットする／取り出す.....	15
4 メディアカードを使うーブリッジメディアスロットー.....	18
1 使えるメディアカードについて	18
2 メディアカードをセットする／取り出す.....	19
5 USB／Thunderbolt™対応機器を使う.....	20
1 USBの常時給電.....	20
2 USB対応機器を取り付ける／取りはずす.....	22
6 LAN機能を使う.....	23
1 有線LANで接続する	23
2 無線LANで接続する	24
7 Bluetooth®機能を使う.....	26

8 便利な機能	28
1 dynabook セッティングを使う	28
2 ecoユーティリティで省電力の設定をする	29
3 パネルオープンパワーオンを設定する	31
2章 認証機能を設定する	32
1 システムパスワードを設定する	32
1 ユーザーパスワードを設定する	34
2 スーパーバイザーパスワードを設定する	38
3 HDDパスワードを設定する	40
4 パスワード入力時の注意	41
2 WindowsパスワードとPIN	42
3 指紋認証を使う	44
1 指紋を登録する	44
2 指紋認証を行う	46
3 指紋データを消去する	46
4 顔認証を使う	48
1 顔の情報を登録する	48
2 顔認証を行う	49
3 顔データを消去する	49

本書をお読みになる前に

- 本製品を安全に正しく使うために、次のマニュアルも合わせてお読みください。

参照先	編名称	内容
『オンラインマニュアル』 または当社ホームページ 「dynabook.com」	安心してお使い いただくために	本製品を使用する際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項について説明しています。 * 本製品を使用する前に、必ずお読みください。
	取扱説明書	各部名称や接続方法、電源の入れかた／切りかたなど、本製品の基本的な使用方法について説明しています。本製品を初期状態に戻す方法やサポート情報についても説明しています。



1章 パソコンの機能を活用する

パソコン本体に用意されている、さまざまな機能について説明しています。

1 テレビや外部ディスプレイを接続する

1 HDMI®出力端子に接続する／取りはずす

Memo

- HDMI®対応機器すべての動作を保証するものではありません。
 - 接続するHDMI®ケーブルは、市販のものを使用してください。
 - HDMI®ケーブルは、HDMI®ロゴ (HDMI®) の表示があるケーブルを使用してください。
 - 1,920×1,080ドット以上の解像度の出力には、ハイスピードHDMI®ケーブルを使用してください。解像度については、次の手順で検索してください。
 - ・Windows 11の場合
 1. タスクバーの  をクリックし、入力欄に「解像度」と入力して検索する
 - ・Windows 10の場合
 1. タスクバーの検索ボックス () で、「解像度」と入力して検索する
 - 表示可能な解像度はディスプレイにより異なります。
 - テレビや外部ディスプレイへの出力形式の設定は変更できます。
- 参照** [「表示を切り替える \(8ページ\)」](#)
- 著作権保護された映像などをテレビや外部ディスプレイに表示するためには、HDCPに対応したテレビや外部ディスプレイを接続してください。

1 接続する

1. HDMI®ケーブルのプラグを、テレビまたは外部ディスプレイのHDMI®入力端子に差し込む
2. テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れる
3. HDMI®ケーブルのもう一方のプラグを、パソコン本体のHDMI®出力端子に差し込む

参照 ▶ パソコン本体のHDMI®出力端子の位置『取扱説明書 1 章 1 各部の名称』

Memo

- HDMI®接続で、テレビまたは外部ディスプレイに映像を映しているとき、HDMI®ケーブルを抜いたあと、再度HDMI®ケーブルを接続する場合は5秒以上間隔をあけてください。

■ 音声の出力をパソコン本体のスピーカーからテレビなどに切り替える

HDMI®ケーブルでテレビや外部ディスプレイを接続すると、自動的に音声の出力先がテレビや外部ディスプレイに切り替わります。



テレビや外部ディスプレイを接続しても音声切り替わらない場合は、次の設定を行ってください。

Memo

- 手動で音声の切り替えを行う場合、あらかじめ表示方法を [複製]、[拡張]、[セカンドスクリーンのみ] のいずれかに設定しておく必要があります。



参照 [「表示を切り替える \(8ページ\)」](#)

■ Windows 11の場合

1. [スタート] ボタン () をクリックする
2. [設定] をクリックする
3. [システム] → [サウンド] をクリックする
4. [サウンドの詳細設定] をクリックする
5. [再生] タブでテレビのアイコン () がある項目を選択し、[既定値に設定] ボタンをクリックする
6. [OK] ボタンをクリックする

この設定を行うと、パソコン本体から音声出力されなくなります。テレビや外部ディスプレイを取りはずし、パソコン本体からの音声出力に戻す場合は、手順5で [スピーカー] を選択し、[既定値に設定] ボタンをクリックしてください。

■ Windows 10の場合

1. [スタート] ボタン () をクリックする
2. [Windowsシステムツール] → [コントロールパネル] をクリックする
3. [ハードウェアとサウンド] → [サウンド] をクリックする
[サウンド] 画面が表示されます。
4. [再生] タブでテレビのアイコン () がある項目を選択し、[既定値に設定] ボタンをクリックする
5. [OK] ボタンをクリックする

この設定を行うと、パソコン本体から音声が出力されなくなります。テレビや外部ディスプレイを取りはずし、パソコン本体からの音声出力に戻す場合は、手順4で [スピーカー] を選択し、[既定値に設定] ボタンをクリックしてください。

2 | 取りはずす

1. HDMI®出力端子からHDMI®ケーブルのプラグを抜く

2 RGBコネクタに接続する／取りはずす

Memo

- 接続するケーブルは、市販のものを使用してください。
 - 表示可能な解像度はディスプレイにより異なります。
 - 1,920×1,200ドットは、Reduced Blanking対応の外部ディスプレイでのみ表示可能です。
 - 外部ディスプレイへの出力形式の設定は変更できます。
- 参照** [「表示を切り替える \(8ページ\)」](#)
- RGB端子を備えたテレビへは、外部ディスプレイのようにRGBケーブルを使って表示することもできます。
- 参照** 本項目の説明と『テレビに付属している説明書』

1 接続する

1. 外部ディスプレイのケーブルのプラグを、外部ディスプレイのRGBコネクタに差し込む
2. 外部ディスプレイの電源を入れる
3. 外部ディスプレイのケーブルのもう一方のプラグを、パソコン本体のRGBコネクタに差し込む

本製品のRGBコネクタには固定用のネジ穴はありませんが、プラグに固定用のネジが付いているタイプの外部ディスプレイケーブルも使用できます。

参照▶ パソコン本体のRGBコネクタの位置『取扱説明書 1 章 1 各部の名称』

2 取りはずす

RGBコネクタから外部ディスプレイのケーブルのプラグを抜く

3 表示を切り替える

[FN]キーを押したまま [F5]キーを押すと、表示装置を選択する画面が表示されます。



(Windows 11の表示例)

[FN]キーを押したまま [F5]キーを数回押し、目的の項目を選択すると、表示装置が切り替わります。

項目	概要
PC画面のみ	本体ディスプレイだけに表示します。
複製	本体ディスプレイと、テレビまたは外部ディスプレイの2つの表示装置それぞれに、同じ内容を表示します。
拡張	本体ディスプレイと、テレビまたは外部ディスプレイの2つの表示装置を、1つの画面として表示します。
セカンドスクリーンのみ	テレビまたは外部ディスプレイだけに表示します (本体ディスプレイには何も表示されません)。

Memo

- テレビ／外部ディスプレイと本体ディスプレイを同時表示させる場合は、同時表示の種類や設定に合った色数／解像度で表示されます。
- 表示を切り替えたとき、システムによって自動的に解像度が変わる場合があります。
- テレビ／外部ディスプレイに表示する場合、表示位置や表示幅などが正常に表示されない場合があります。この場合は、テレビ／外部ディスプレイ側で、表示位置や表示幅を設定してください。
- Windows 10の場合、拡張表示は、「タブレットモード」がオフの状態で使用できます。
- 映像を再生するアプリケーションを起動しているときは、表示装置を切り替えられません。
なお、ご使用の環境やアプリケーションにより複製表示、拡張表示での再生はサポートしていません。
- 著作権保護された映像を、HDMI®出力端子に接続したテレビ／外部ディスプレイに表示したい場合は、テレビ／外部ディスプレイだけに表示するように設定してください。
- 省電力の設定によりテレビ／外部ディスプレイの表示が消えた場合は、キーあるいはタッチパッドの操作により表示が復帰します。スリープに移行した場合は、電源スイッチを押してください。表示が復帰するまで10秒前後かかる場合がありますが、故障ではありません。

2 サウンド

1 スピーカーの音量を調整する

スピーカーの音量は、次の方法で調整できます。


音量はWindowsで制御しているため、Windows起動時や電源を切っているときは、音量変更はできません。



1 **FN** + **3** または **FN** + **4** キーで調整する

1. 音量を小さくしたいときは **FN** + **3** キー、大きくしたいときは **FN** + **4** キーを押す
FN キーを押したまま **3** キーを押すたびに音量が小さくなり、**FN** キーを押したまま **4** キーを押すたびに音量が大きくなります。

2 音量ミキサーから調整する

■Windows 11の場合

1. 通知領域の  アイコンを右クリックし、表示されたメニューから [音量ミキサーを開く] をクリックする

通知領域に  アイコンが表示されていない場合は、[スタート] ボタン () → [設定] → [システム] → [サウンド] → [音量ミキサー] をクリックしてください。
[音量ミキサー] 画面が表示されます。



2. 各項目でつまみを左右にドラッグして調整する

 をクリックすると消音 (ミュート) になります。


ボリューム	本製品のスピーカー／ヘッドセットやヘッドホンの音量を調整します。
システム音	Windowsのプログラムイベント (メッセージの表示、システムエラーなどの動作) で再生されるサウンド設定の音量を調整します。

■ Windows 10の場合

1. 通知領域の アイコンを右クリックし、表示されたメニューから [音量ミキサーを開く] をクリックする

通知領域に  アイコンが表示されていない場合は、[スタート] ボタン () → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [システム音量の調整] をクリックしてください。
[音量ミキサー] 画面が表示されます。

2. 各項目でつまみを左右にドラッグして調整する

 をクリックすると消音 (ミュート) になります。

スピーカー／ヘッドホン	本製品のスピーカー／ヘッドセットやヘッドホンの音量を調整します。
システム音	Windowsのプログラムイベント (メッセージの表示、システムエラーなどの動作) で再生されるサウンド設定の音量を調整します。

Memo

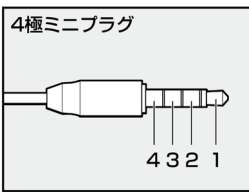
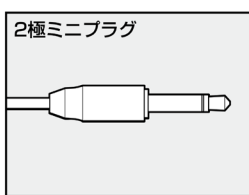
- インテル®ハイ・デフィニション・オーディオ準拠。
- キャプチャソフトなどを使用して、パソコンで再生中の音声を録音することはできません。

2 マイクやヘッドホンを接続する

1 使用できる端子の種類

マイク入力/ヘッドホン出力端子で使用できる端子の種類は次のとおりです。

参照▶ パソコン本体のマイク入力/ヘッドホン出力端子の位置『取扱説明書 1 章 1 各部の名称』

<p>4極ミニプラグ</p> 	<ul style="list-style-type: none">● プラグは直径3.5mm4極ミニプラグタイプが使用できます。● 左図の数字は、次の内容を示します。<ul style="list-style-type: none">1：ヘッドホン左2：ヘッドホン右3：グラウンド（マイク）4：マイク（グラウンド）● 3ピンと4ピンのグラウンドとマイクは、本製品が自動識別します。● マイク機能のみ、ヘッドホン機能のみを使用する場合、設定の変更を行う必要があります。 <p>参照▶ 「マイク/ヘッドホンを選択する（12ページ）」</p>
<p>3極ミニプラグ</p> 	<ul style="list-style-type: none">● プラグは直径3.5mm3極ミニプラグタイプが使用できます。● マイク、ヘッドホンが使用できます。● 設定の変更を行う必要があります。 <p>参照▶ 「マイク/ヘッドホンを選択する（12ページ）」</p>
<p>2極ミニプラグ</p> 	<ul style="list-style-type: none">● 直径3.5mm2極ミニプラグタイプのマイクでもマイク本体にバッテリーなどを搭載し、電源供給を必要としないマイクであれば使用できます。● 設定の変更を行う必要があります。 <p>参照▶ 「マイク/ヘッドホンを選択する（12ページ）」</p>

音声認識ソフトとあわせて使用する場合は、各アプリケーションの取り扱い元が推奨するマイクを使用してください。

すべてのマイク、ヘッドホン、ヘッドセットに対応するものではありません。

2 | マイク／ヘッドホンを選択する

ご使用のマイク／ヘッドホンを選択します。

1. マイクまたはヘッドホンを接続する

2. 「Realtek Audio Console」を起動する

■ Windows 11の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [すべてのアプリ] → [Realtek Audio Console] をクリックする

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [Realtek Audio Console] をクリックする

3. 画面左側の [デバイス詳細設定] をクリックする

4. の横にあるプルダウンメニューからデバイスを選択する

5. [閉じる] ボタン () をクリックする

3 CD/DVDを使うドライブ

* ドライブ搭載モデルのみ

ドライブ搭載モデルには、次のドライブが搭載されています。

- DVDスーパーマルチドライブ
- DVD-ROMドライブ

搭載されているドライブは、購入したモデルによって異なります。

『安心してお使いいただくために』に、CD/DVDを使用するとき守ってほしいことが記述されています。CD/DVDを使用する場合は、あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。

1 使えるCD/DVDについて

使用できるCD/DVDの詳細と、書き込み速度については、次の説明を確認してください。

参照▶ 記録メディアについて『取扱説明書』

使用する記録メディアによっては、読み出しができない場合があります。

1 DVDスーパーマルチドライブ搭載モデル

* 12cm/8cmディスク対応、Serial ATA接続、バッファアンダーランエラー防止機能付き。

○：使用できる×：使用できない

	読み出し*1	書き込み回数
CD-ROM	○	×
CD-R	○	1回
CD-RW	○	繰り返し書き換え可能*2
DVD-ROM	○	×
DVD-R*3	○*4	1回
DVD-RW	○	繰り返し書き換え可能*2
DVD+R*5	○	1回
DVD+RW	○	繰り返し書き換え可能*2
DVD-RAM	○	繰り返し書き換え可能*2

*1 対応フォーマットによっては再生ソフトが必要な場合があります。

*2 実際に書き換えできる回数は、記録メディアの状態や書き込み方法により異なります。

*3 本書では、「DVD-R」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除きDVD-R DL (DVD-R DualLayer) を含みます。DVD-R DLは、Format4での読み出し/書き込みをサポートしておりません。

*4 DVD-R DLのみ追記されたデータは読み出しできません。

*5 本書では、「DVD+R」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD+R DL (DVD+R Double Layer) を含みます。

Memo 書き込みについて

- CD/DVDにデータを書き込むには、Windowsの書き込み機能を使用してください。
- 記録メディアにデータを書き込むとき、記録メディアの状態やデータの内容、またはパソコンの使用環境によって、実行速度は異なります。

- お願い** CD/DVDに書き込む前に
あらかじめ、次の説明を確認してください。
参照▶ CD/DVDに書き込む前に『取扱説明書』

2 DVD-ROMドライブ搭載モデル

DVD-ROMドライブは、CD/DVDの読み出しのみ可能です。
書き込みはできません。

2 DVDの映画や映像を見る

DVDをセットする方法については、次の説明を参照してください。

参照▶ [「CD/DVDをセットする/取り出す \(15ページ\)」](#)

Windows上でDVDを再生するには、「sMedio True DVD for dynabook (エスメディアオトゥルーディーブイディー)」を使います。


- Memo** ● DVDを再生する場合、「sMedio True DVD for dynabook」を使用してください。
市販ソフトなどを使用してDVDを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。

1 sMedio True DVD for dynabookで見る

再生方法

1. 「sMedio True DVD for dynabook」を起動する

■ Windows 11の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [すべてのアプリ] → [sMedio True DVD for dynabook] をクリックする

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [sMedio True DVD for dynabook] をクリックする

「sMedio True DVD for dynabook」が起動します。

ヘルプの起動方法

ヘルプを使用するには、インターネットに接続する必要があります。

1. 「sMedio True DVD for dynabook」を起動後、画面左側の (ヘルプ) をクリックする

3 CD/DVDをセットする／取り出す

お願い CD/DVDの使用にあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 使えるCDの確認、使えるDVDの確認『取扱説明書』


Memo セットする前に確認しよう

- 傷ついたり汚れのひどいCD/DVDの場合は、挿入してから再生が開始されるまで、時間がかかる場合があります。汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れをふきとってから再生してください。

- CD/DVDの特性やCD/DVDへの書き込み時の特性によって、読み出せない場合もあります。

- CD/DVDの種類によっては、取り出すときWindowsが自動的にセッションを閉じてしまう場合があります。このとき、確認のメッセージなどは表示されません。

よく確認してからCD/DVDをセットしてください。このWindowsの機能を無効にするには、次のように操作してください。

- ① タスクバーの [エクスプローラー] ボタン () をクリックする

「エクスプローラー」が起動します。

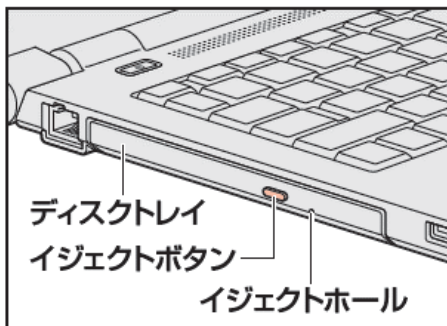
- ② [PC] からドライブのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする

ドライブのプロパティ画面が表示されます。

- ③ [書き込み] タブで [共通の設定] ボタンをクリックする

- ④ [共通の設定] 画面で [シングルセッションディスクを取り出すとき] と [マルチセッションディスクを取り出すとき] のチェックをはずし、[OK] ボタンをクリックする

1 ドライブの各部の名称



* 搭載されているドライブによってイジェクトボタンなどの位置は異なります。

2 | セットする

1. パソコン本体の電源を入れる

Windowsが起動します。

2. イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンを押したら、ボタンから手をはなしてください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。

3. ディスクトレイを引き出す

CD/DVDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4. 記録・再生面を下にして、CD/DVDの穴の部分をディスクトレイの中央凸部に合わせて、上から押さえてセットする

ディスクトレイが反らないよう、もう一方の手で支えてください。
このとき、レンズおよびその周辺（ディスクトレイの裏側も含む）に触れないように注意してください。

「カチッ」と音がして、セットされていることを確認してください

5. 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し込む

3 | 取り出す

1. パソコン本体の電源が入っているか確認する

電源が入っていない場合は電源を入れてください。

2. イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し出てきます。

3. ディスクトレイを引き出す

CD/DVDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4. ディスクトレイの中央凸部を軽く押さえながら、CD/DVDの端を上を持ち上げて取り出す

ディスクトレイが反らないよう、もう一方の手で軽く押さえてください。
このとき、レンズおよびその周辺（ディスクトレイの裏側も含む）に触れないように注意してください。

5. 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し込む

4 | CD/DVDが出てこない場合

電源を切っているとき、または休止状態のときは、取り出しの操作をしてもCD/DVDは出てきません。電源を入れてから、CD/DVDを取り出してください。

次の場合は、電源が入っていても、すぐにCD/DVDは出てきません。

- 電源を入れた直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- 再起動した直後
- ドライブが動作しているとき

上記以外でCD/DVDが出てこない場合は、次のように操作してください。

● Windows動作中の場合

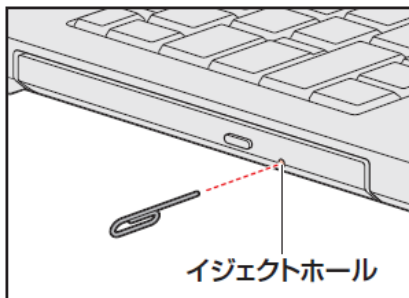
CD/DVDを使用しているアプリケーションをすべて終了してから、イジェクトボタンを押してください。

● パソコン本体の電源が入らない場合

⚠注意

- クリップなどを使う場合は、取り扱いに十分注意する
先端のとがった部分でけがをするおそれがあります。

電源が入らない場合は、イジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押してください。



* 搭載されているドライブによってイジェクトホールの位置は異なります。

4 メディアカードを使う —ブリッジメディアスロット—

1 使えるメディアカードについて

- SDメモリカード（SDHCメモリカード、SDXCメモリカードを含む）*1*2
- miniSDメモリカード（miniSDHCメモリカードを含む）*1*2
- microSDメモリカード（microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む）*1*2
- マルチメディアカード*1*3

*1 すべての記録メディアの動作を保証するものではありません。

*2 SDIOカードには対応していません。

*3 SecureMMCには対応していません。

本書では、特に区別して説明する場合を除き、SDメモリカード、miniSDメモリカード、microSDメモリカードを「SDメモリカード」と呼びます。

- お願い**
- miniSDメモリカード、microSDメモリカードは、市販のSDメモリカード変換アダプターが必要です。
アダプターを使用しないで直接挿入すると、取り出せなくなります。



参照 変換アダプターの装着や使用方法『メディアカードに付属している説明書』

*イラストは、実際のものとは異なる場合があります。

- Memo**
- コンパクトフラッシュメモリカードなどは使用できません。使用する場合はUSB経由で周辺機器（デジタルカメラなど）を接続するか、専用のカードリーダーをご使用ください。
 - 新品のメディアカードは、メディアカードの規格に合わせてフォーマットされた状態で販売されています。フォーマットとは、メディアカードを使えるようにすることです。フォーマットされていないものを購入した場合や再フォーマットをする場合は、メディアカードを使用する機器（デジタルカメラやオーディオプレーヤーなど）で行ってください。

2 メディアカードをセットする／取り出す

お願い メディアカードの使用にあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶ メディアカードを使うにあたって『取扱説明書』

1 セットする

1. メディアカードの表裏を確認し、コネクタ部分（金色の部分）を下にして、ブリッジメディアスロットに挿入する


奥まで挿入します。


参照▶ パソコン本体のブリッジメディアスロットの位置『取扱説明書 1 章 1 各部の名称』

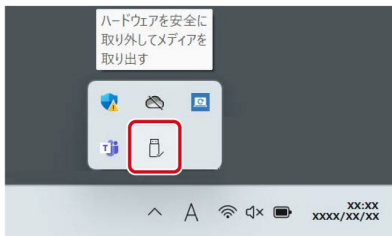
2 取り出す

メディアカードに保存しているファイルを使用していたり、ウィンドウを開いたりしていると、取り出しができません。ファイルやウィンドウを閉じてから、操作を行ってください。

1. メディアカードの使用を停止する

- ① 通知領域の [ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す] アイコン () をクリックする

* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、  をクリックしてください。



(表示例)

- ② 表示されたメニューから [(取りはずすメディアカード) の取り出し] をクリックする
「ハードウェアの取り外し」のメッセージが表示されます。

2. メディアカードを押す

カードが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

5 USB/Thunderbolt™対応機器を使う

USB/Thunderbolt™対応機器は、電源を入れたまま取り付け/取りはずしができます。また、初めて接続する周辺機器を認識すると、システムがドライバーの有無をチェックし、自動的にインストールを行うプラグアンドプレイに対応しています。

USB/Thunderbolt™対応機器すべての動作を保証するものではありません。



USB Type-Aコネクタについて

USB Type-Aコネクタには、USB3.2 (Gen1) / USB3.1 (Gen1) / USB3.0 / USB2.0 / USB1.1対応機器を取り付けることができます。

Thunderbolt™ (USB Type-C™) コネクタについて

* Thunderbolt™搭載モデルのみ

Thunderbolt™ (USB Type-C™) コネクタには、Thunderbolt™ 4 / Thunderbolt™ 3 / USB4™ / USB3.2 (Gen2) / USB3.2 (Gen1) / USB3.1 (Gen2) / USB3.1 (Gen1) / USB3.0 / USB2.0 / USB1.1対応機器を取り付けることができます。

USB Type-C™コネクタについて

* Thunderbolt™を搭載していないモデルのみ

USB Type-C™コネクタには、USB4™ / USB3.2 (Gen2) / USB3.2 (Gen1) / USB3.1 (Gen2) / USB3.1 (Gen1) / USB3.0 / USB2.0 / USB1.1対応機器を取り付けることができます。

■ USBケーブルについて

Thunderbolt™ (USB Type-C™) コネクタ / USB Type-C™コネクタに市販のUSB対応機器を接続する場合は、パソコン本体に接続する側のプラグが、USB Type-C™のものを使用してください。もし、USB Type-C™ではない場合は、USB Type-C™変換アダプターなどが必要です。

参照▶ USB対応機器の詳細『USB対応機器に付属している説明書』

1 USBの常時給電

* 常時給電に対応しているモデルのみ

1 USBの常時給電

⚡アイコンが付いているUSBコネクタでは、パソコンがスリープ状態であれば常にUSBコネクタにUSBバスパワー (DC5V) を供給できます。また、電源OFF、休止状態でも、パワーオフアンドチャージ機能を有効にすることで、USBバスパワーを供給できます。本機能を利用して、USBに対応する携帯電話や携帯型デジタル音楽プレーヤーなどの外部機器の使用および充電ができます。

* USBケーブルは本製品に含まれていません。別途ご使用の機器に対応したケーブルを準備してください。

なお、本機能はすべてのUSB対応機器の使用および充電を保証するものではありません。

Memo USBの常時給電について


- バッテリー駆動でスリープのUSB常時給電を使用すると、バッテリーの残量にかかわらず、パソコンの状態によって自動的に休止状態へ移行する場合があります。

設定方法

パワーオフアンドチャージ機能はご購入時の設定では無効になっています。
使用するには「dynabook セッティング」で「パワーオフアンドチャージ」を有効にする必要があります。

1. 「dynabook セッティング」を起動する

■ Windows 11の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [すべてのアプリ] → [dynabook セッティング] をクリックする

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [dynabook セッティング] をクリックする

2. [USB給電] で [パワーオフアンドチャージ] を [有効] に設定する

「USB給電について」の表示方法

USBの常時給電についての詳細は、次の手順で確認できます。

1. USB対応機器を、パソコン本体のUSBコネクタに接続する

画面右下に、「パワーオフアンドチャージ」のメッセージが表示されます。

2. メッセージをクリックする

[USB給電について] 画面が表示されます。

2 USB対応機器を取り付ける／取りはずす

1 取り付ける

1. USBケーブルのプラグをUSB対応機器に差し込む

この手順が必要ない機器もあります。

参照▶ USB対応機器の詳細について『USB対応機器に付属している説明書』

2. USBケーブルのもう一方のプラグを、パソコン本体のUSBコネクタに差し込む


プラグの向きを確認して差し込んでください。


参照▶ パソコン本体のUSBコネクタの位置『取扱説明書 1 章 1 各部の名称』

2 取りはずす

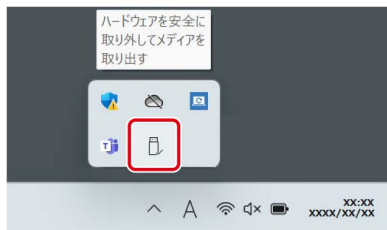
USB対応機器に保存しているファイルを使用していたり、ウィンドウを開いたりしていると、取り出しができません。ファイルやウィンドウを閉じてから、操作を行ってください。

1. USB対応機器の使用を停止する

①通知領域の [ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す] アイコン () をクリックする

* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、  をクリックしてください。

この操作を行ってもアイコンが表示されないUSB対応機器は、手順2に進んでください。



(表示例)

②表示されたメニューから [(取りはずすUSB対応機器) の取り出し] をクリックする
「ハードウェアの取り外し」のメッセージが表示されます。

2. パソコン本体とUSB対応機器に差し込んであるUSBケーブルのプラグを抜く

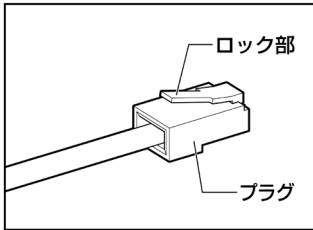
6 LAN機能を使う

1 有線LANで接続する

1 LANケーブルを接続する

LANケーブルをはずしたり差し込むときは、プラグの部分を持って行ってください。また、はずすときは、プラグのロック部を押しながらずしてください。ケーブルを引っ張らないでください。

LANケーブルは本製品には付属していません。市販のLANケーブルを購入してください。



1. パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る

2. LANケーブルのプラグを、パソコン本体のLANコネクタに差し込む

ロック部の向きに注意して、差し込んでください。

参照▶ パソコン本体のLANコネクタの位置『取扱説明書 1 章 1 各部の名称』

3. LANケーブルのもう一方のプラグを、接続先のネットワーク機器のコネクタに差し込む

接続する機器により、以降の設定方法は異なります。





参照▶ 光回線終端装置の設定について『プロバイダーなどから送られてくる資料』

参照▶ ブロードバンドルーターの設定について『ブロードバンドルーターに付属している説明書』

2 無線LANで接続する

* 無線LAN機能搭載モデルのみ

⚠ 警告

- 植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）を装着しているかたは、植込み型医療機器の装着部位から15cm以上離す
電波により植込み型医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - 無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。
 - ① 通知領域の （）または  アイコンをクリックする
 - ② [機内モード] をクリックして、オンに切り替える
オンになると、通知領域に  アイコンが表示されます。
 - スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
 - ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

お願い ● 『取扱説明書』に、セキュリティに関する注意事項や使用上の注意事項を説明しています。無線LANを使用する場合は記述をよく読んで、セキュリティの設定を行ってください。


参照 ▶ デイリーケアとアフターケア 『取扱説明書』


1 無線LANアクセスポイントと接続する

1. 無線LANアクセスポイントの電源を入れる

参照 ▶ 無線LANアクセスポイントの操作の詳細について
『無線LANアクセスポイントに付属している説明書』

2. パソコン本体の無線通信機能をONにする


機内モードがオン（通知領域に  が表示）の場合は、機内モードをオフにしてください。



- ① 通知領域の  をクリックする
- ② [機内モード] をクリックして、オフに切り替える


機内モード オフ（通知領域には （）または  が表示） : 無線通信機能ON
機内モード オン（通知領域には  が表示） : 無線通信機能OFF

3. ワイヤレスネットワーク一覧を表示する

■ Windows 11の場合


①通知領域の  アイコンをクリックする



* 通知領域に  アイコンが表示されていない場合は、 をクリックしてください。

② [Wi-Fi] がOFF (アイコンに色が付いていない) の場合は、 をクリックする
[Wi-Fi] がONになると、アイコンに色が付きます。

③  の右側の、 をクリックする

■ Windows 10の場合

①通知領域の  アイコンをクリックする

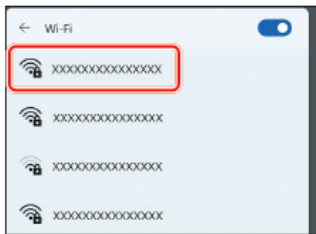
* 通知領域に  アイコンが表示されていない場合は、 をクリックしてください。

パソコンの周囲にあるワイヤレスネットワーク (無線LANアクセスポイント) のSSIDの一覧が表示されます。

以前接続したワイヤレスネットワークのセキュリティ情報がパソコンに記憶されている場合は、自動的に接続されます。

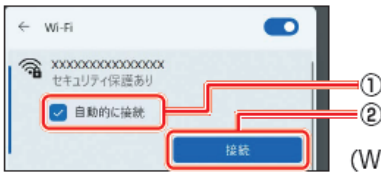
4. 接続するワイヤレスネットワークをクリックする

環境によっては、近隣で使用されているワイヤレスネットワークのSSIDが表示される場合があります。必ず目的のワイヤレスネットワークを選択してください。



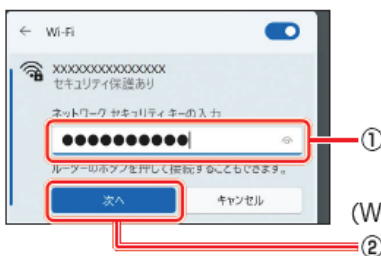
(Windows 11 の表示例)

5. [自動的に接続] をチェックし①、[接続] ボタンをクリックする②



(Windows 11 の表示例)

6. ネットワークセキュリティキーを入力して①、[次へ] ボタンをクリックする②



(Windows 11 の表示例)

以降は、画面の指示に従って操作してください。





選択する項目、データ暗号化の方式、セキュリティキーなどは、正しく設定してください。正しく設定していない場合、無線LANアクセスポイントに接続できない場合があります。

参照 『無線LANアクセスポイントに付属している説明書』

7 Bluetooth®機能を使う

* Bluetooth®機能搭載モデルのみ

⚠警告

- 植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）を装着しているかたは、植込み型医療機器の装着部位から15cm以上離す
電波により植込み型医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - 無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。
 - ①通知領域の （）または  アイコンをクリックする
 - ② [機内モード] をクリックして、オンに切り替える
オンになると、通知領域に  アイコンが表示されます。
 - スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
 - ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

Memo


- Bluetooth®のバージョンによっては本製品と通信できないBluetooth®対応機器があります。
本製品に搭載されているBluetooth®機能のバージョンについては、次の説明を確認してください。
参照 無線LAN/Bluetooth®について『準備/困ったときは編』
- 2.4GHz帯の無線LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。


1 Bluetooth®対応機器と接続する





1. Bluetooth®対応機器の電源を入れ、Bluetooth®機能をONにする

参照▶ Bluetooth®対応機器の操作方法の詳細『Bluetooth®対応機器に付属している説明書』

2. パソコン本体の無線通信機能をONにする


機内モードがオン（通知領域に  が表示）の場合は、機内モードをオフにしてください。

- ①通知領域の  をクリックする
- ②[機内モード] をクリックして、オフに切り替える


機内モードオフ（通知領域には （）または  が表示）：無線通信機能ON
機内モードオン（通知領域には  が表示）：無線通信機能OFF

3. Bluetooth®対応機器を設定する

■ Windows 11の場合

- ①[スタート] ボタン（）をクリックする
- ②[設定] をクリックする
- ③[Bluetoothとデバイス] をクリックする
[Bluetoothとデバイス] 画面が表示されます。
- ④[Bluetooth] を [オン] に設定する
[オン] にすると、パソコン本体のBluetooth®機能がONになります。
- ⑤[デバイスの追加] をクリックする
以降は、画面の指示に従って設定してください。

■ Windows 10の場合

- ①[スタート] ボタン（）をクリックする
- ②[設定] をクリックする
- ③[デバイス] をクリックする
[デバイス] 画面が表示されます。
- ④[Bluetoothとその他のデバイス] をクリックして、[Bluetooth] を [オン] に設定する
[オン] にすると、パソコン本体のBluetooth®機能がONになります。
- ⑤[Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する] をクリックする
以降は、画面の指示に従って設定してください。

8 便利な機能

1 dynabook セッティングを使う

「dynabook セッティング」では、次の機能をWindows上で設定変更できます。

- ecoユーティリティ
- USB給電
- キーボード
- 起動オプション
- システムパスワード
- 高度な設定（各種デバイスおよび機能の設定）


* 搭載している機能または設定変更できる機能は、モデルによって異なります。

複数のユーザーで使用する場合も、設定内容は全ユーザーで共通になります。

設定方法

1. 「dynabook セッティング」を起動する

■ Windows 11の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [すべてのアプリ] → [dynabook セッティング] をクリックする

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [dynabook セッティング] をクリックする

2. 画面左側から機能を選択し、画面右側で各設定を行う

Memo

- システムパスワード（ユーザーパスワードやスーパーバイザーパスワード）を登録している場合、「dynabook セッティング」を起動すると、認証を求める画面が表示されます。パスワードで認証を行ってください。

ヘルプの起動方法

1. 「dynabook セッティング」を起動後、[ホーム] で [サポートする機能について] をクリックする

2 ecoユーティリティで省電力の設定をする

「ecoユーティリティ」は、節電への貢献を総合的にサポートします。

■ecoモード

「ecoモード」をオンにすると、当社の推奨する設定によって、電源プランやディスプレイの明るさなどを自動的に調節して、消費電力をおさえます。

■貢献履歴

消費電力の低減によって、どれだけ環境の保護に貢献できたかが、イメージやグラフなどで表示されます。

一日ごと、または月ごとに確認できます。

■dynabook 省電力設定

「dynabook 省電力設定」を有効にすると、Windowsのパワースライダーのモードに合わせて、本製品に適した電力制御を行います。


Memo ●「ecoモード」がオンのときは、常に省電力制御を行います。

■バッテリー充電モード

バッテリー充電モードを選択します。パソコンのご使用状況に合った充電モードを選択してください。

Auto／80％／70％の充電モードは、バッテリーの機能低下を遅らせる充電方式です。満充電での容量が少ないため、バッテリー駆動時間は短くなります。

Autoモード	バッテリーの充電状態や温度に応じて、バッテリー充電モードを100%まで充電する状態、または80%まで充電する状態に自動的に切り替えます。電源コードとACアダプターを接続した状態および満充電に近い充電量（約90%以上）が一定期間（約7日以上）継続した場合、80%まで充電する状態に切り替えます。また、充電量が約50%以下の状態でACアダプターを接続し、充電した場合、100%まで充電する状態に切り替えます。バッテリーでのご使用かACアダプターを接続してのご使用か特定されない場合におすすめのモードです。
100%充電モード (標準値)	100%まで充電します。バッテリーでのご使用が多い場合におすすめのモードです。
80%充電モード	最大約80%まで充電します。ACアダプターを接続してのご使用が多い場合におすすめのモードです。
70%充電モード	最大約70%まで充電します。常にACアダプターを接続した状態で使用する場合におすすめのモードです。

Memo ●モデルによっては、バッテリー充電モードで以下のいずれかの場合に充電すると、通知領域の[バッテリー] アイコンの表示が  に変わります。

- [80%充電モード] に設定した場合
- [70%充電モード] に設定した場合
- [Autoモード] に設定して、80%まで充電する状態に切り替わった場合

■ピークシフト

昼間の電力消費の一部を夜間に移行させて電力を効果的に活用し、電力需要の平準化を実現します。たとえば夏期の日中など電力使用のピーク時間帯には自動的にAC電源からの電力供給を止め、電力需要の少ない時間帯（夜間など）に充電したバッテリーでパソコンを動作させる電源管理機能を備えています。

ピークシフト機能は、パソコン単体でも使用できますが、複数台数で同じ時間帯に制御することによってその効果を発揮します。制御するパソコンの台数は多ければ多いほど効果が大きくなります。


お願い ● ピークシフトをご利用の場合、自動的にバッテリー駆動に切り替わり、CPUやグラフィックアクセラレーターのパフォーマンスが十分に発揮されない場合があります。
映像や音楽を視聴する場合、ピークシフトを一時的に無効にすることをおすすめします。

Memo ● 表示されるメニューは、モデルにより異なります。

起動方法

1. 「dynabook セッティング」を起動する

■ Windows 11の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [すべてのアプリ] → [dynabook セッティング] をクリックする

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [dynabook セッティング] をクリックする

2. [ecoユーティリティ] で各項目を設定する

ヘルプの起動方法

1. [ecoユーティリティ] 画面で [ecoユーティリティについて詳しくはここをクリックしてください] をクリックする

「ecoユーティリティ」のヘルプが表示されます。


Memo ● モデルによっては、ピークシフト期間中やeco充電モードで規定値以上充電されると、バッテリーへの充電は一時的に停止されます。

3 パネルオープンパワーオンを設定する

パネルオープンパワーオン機能は、ディスプレイを開くと自動的にパソコンの電源が入る機能です。本機能は、次の手順で設定できます。

1. 「dynabook セッティング」を起動する

■ Windows 11の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [すべてのアプリ] → [dynabook セッティング] をクリックする

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [dynabook セッティング] をクリックする

2. [起動オプション] をクリック

3. [パネルオープンパワーオン] の設定を有効にする

2章 認証機能を設定する

本製品を使用するときの、さまざまな認証機能の設定方法について説明しています。

1 システムパスワードを設定する

システムパスワードには次のものがあります。

- ユーザーパスワード (BIOSパスワード)
電源を入れるときや休止状態から復帰するとき、パスワードを入力しないと起動しません。
- スーパーバイザーパスワード (BIOSパスワード)
BIOSセットアップの設定を変更できないようにするなど、いくつかのパソコン本体の設定について制限をかけられます。スーパーバイザーが使用します。
- HDDパスワード
本体のハードディスク/SSDを保護します。電源を入れるときにHDDパスワードを入力しないと起動しません。万が一パスワードを忘れた場合、永久にハードディスク/SSDを使用できなくなる、非常に強固なセキュリティです。
HDDユーザーパスワードとHDDマスターパスワードがあります。

お願い

- パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種(型番)を確認後、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口ご連絡してください。
HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスク/SSDは永久に使用できなくなりますので、有料にてハードディスク/SSDを交換します。
その他のパスワードの場合は、有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。
またどちらの場合も、身分証明書(お客様自身を確認できる物)の提示が必要です。

Memo

- パスワードを登録した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えてください。
- パスワードを入力するときは、コード入力や貼り付け(ペースト)などの操作は行わず、キーボードの文字キーを押して直接入力してください。

パスワードに使用できる文字

ユーザーパスワード、スーパーバイザーパスワード、HDDパスワードに使用できる文字は次のとおりです。

アルファベットの大文字と小文字は区別されません。

使用できる文字	アルファベット (半角)	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
	数字 (半角)	0123456789
	記号の一部 (半角)	;,.,. (スペース) など
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none">・全角文字 (2バイト文字)・日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】 漢字、カタカナ (全角/半角)、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号など・記号の一部 (半角) 【例】 (バーチカルライン) _ (アンダーバー) ¥ (エン) など・ほかのキー (SHIFT キーや CAPSLOCK 英数キーなど) と同時に使用しないと入力できない文字	

パスワード登録時に警告メッセージが表示された場合は、登録しようとした文字列に使用できない文字が含まれています。この場合、もう一度別の文字列を入力し直してください。警告が表示されない場合も、上記「使用できない文字」に該当する文字は使用しないでください。また文字列は必ずキーボードから1文字ずつ直接入力してください。

1 ユーザーパスワードを設定する

ユーザーパスワードは、「dynabook セッティング」で設定します。

- Memo**
- ユーザーパスワードは、BIOSセットアップの次の項目から設定することもできます。
 - ・ [Security] メニューの [BIOS Password] の [User]

参照 ▶ BIOSセットアップの詳細『BIOS編』

1 ユーザーパスワードの登録

ユーザーパスワードを登録する手順を説明します。モデルによっては、HDDユーザーパスワードもあわせて登録できます。

1. 「dynabook セッティング」を起動する

■ Windows 11の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [すべてのアプリ] → [dynabook セッティング] をクリックする

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [dynabook セッティング] をクリックする

2. [システムパスワード] で [登録] ボタンをクリックする



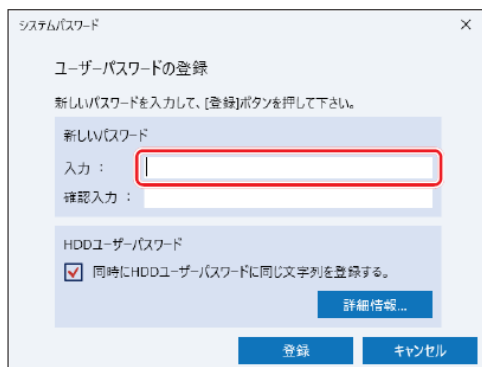
(表示例)

[ユーザーパスワードの登録] 画面が表示されます。

3. [入力:] にパスワードを入力する

パスワードは50文字以内で入力します。

参照 ▶ パスワードに使用できる文字について [「パスワードに使用できる文字 \(33ページ\)」](#)



(表示例)

4. [確認入力:]にもう一度パスワードを入力する

- [同時にHDDユーザーパスワードに同じ文字列を登録する。]項目が表示されている場合
[同時にHDDユーザーパスワードに同じ文字列を登録する。]にチェックがついている場合、ここで設定したユーザーパスワードがHDDユーザーパスワードとしても登録されます。ユーザーパスワードのみ登録する場合は、チェックをはずしてください。

参照▶ HDD/パスワードについて [「HDD/パスワードを設定する \(40ページ\)」](#)

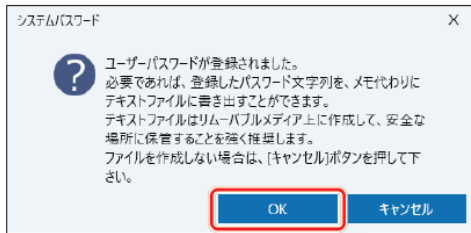
5. [登録] ボタンをクリックする

手順 4 で [同時にHDDユーザーパスワードに同じ文字列を登録する。] をチェックしている場合は、メッセージが表示されるので、メッセージの内容を確認して、[はい] ボタンをクリックしてください。

パスワードの文字列をファイルとして保存しておくことを推奨するメッセージが表示されます。

6. パスワードファイルを作成する場合は [OK] ボタンをクリックする

パスワードファイルを作成しておけば、パスワードを忘れた場合、本機または本機以外の機器でパスワードを確認することができます。



(表示例)

パスワードファイルを作成しない場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。[OK] ボタンをクリックすると、[名前を付けて保存] 画面が表示されます。

7. パスワードファイルを作成する

パスワードファイルは、USBフラッシュメモリなどの記録メディアに保存することを強くおすすめします。

手順 4 で [同時にHDDユーザーパスワードに同じ文字列を登録する。] をチェックしている場合、「今すぐコンピューターを再起動しますか?」というメッセージが表示されるので、[いいえ] ボタンをクリックしてください (ここでは再起動せず、手順の最後に再起動してください)。

8. 必要に応じて、[パスワードの注釈:]を入力する

[パスワードの注釈] にはパスワードのヒントとなる文字列を登録できます。登録すると、パスワードの入力が必要なときに、登録した文字列が表示されます。

パスワード文字列そのものを登録しないでください。

使用できる文字列はユーザーパスワードと同様です。

参照▶ パスワードに使用できる文字について [「パスワードに使用できる文字 \(33ページ\)」](#)

9. [適用] ボタンをクリックする

手順 4 で [同時にHDDユーザーパスワードに同じ文字列を登録する。] をチェックしている場合は、必ず電源を切る、または再起動してください。

お願い ● パスワードファイルを保存した記録メディアは、安全な場所に保管してください。

Memo ● パスワードを登録した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。
● ユーザーパスワードを登録すると、以後「dynabook セッティング」を起動する際に、認証画面が表示されます。パスワードで認証を行ってください。

2 ユーザーパスワードの変更

ユーザーパスワードを変更するには、次の手順を実行してください。

1. 「dynabook セッティング」を起動する

■ Windows 11の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [すべてのアプリ] → [dynabook セッティング] をクリックする

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [dynabook セッティング] をクリックする

認証画面が表示されるので、パスワードで認証を行ってください。

2. [システムパスワード] で [変更] ボタンをクリックする

[ユーザーパスワードの変更] 画面が表示されます。

3. [入力:] に新しいパスワードを入力する

パスワードは50文字以内で入力します。

参照 ▶ パスワードに使用できる文字について [「パスワードに使用できる文字 \(33ページ\)」](#)

4. [確認入力:] にもう一度新しいパスワードを入力する

5. [変更] ボタンをクリックする

確認のメッセージが表示されます。

6. メッセージの内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする

認証画面が表示されるので、パスワードで認証を行ってください。

ここでは、まだパスワードは変更されていないので、手順 3、4 で入力したものではなく、その前に登録しておいたパスワードを入力してください。

パスワードが変更されます。

変更したパスワードの文字列をファイルとして保存しておくことを推奨するメッセージが表示されます。

7. パスワードファイルを作成する場合は [OK] ボタンをクリックする

パスワードファイルを作成しない場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。


参照 ▶ ユーザーパスワードの登録の手順 7 [「パスワードファイルを作成する \(35ページ\)」](#)

3 ユーザーパスワードの削除

ユーザーパスワードを削除するには、次の手順を実行してください。

1. 「dynabook セッティング」を起動する

■ Windows 11の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [すべてのアプリ] → [dynabook セッティング] をクリックする

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [dynabook セッティング] をクリックする

認証画面が表示されるので、パスワードで認証を行ってください。

2. [システムパスワード] で [削除] ボタンをクリックする

[ユーザーパスワードの削除] 画面が表示されます。

3. [削除] ボタンをクリックする

4. メッセージの内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする

認証画面が表示されるので、パスワードで認証を行ってください。
確認のメッセージが表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックする

パスワードが削除されます。

2 スーパーバイザーパスワードを設定する

スーパーバイザーパスワードは「dynabook セッティング」で設定します。

Memo


- 先にユーザーパスワードが登録されている場合は、スーパーバイザーパスワードの登録はできません。
スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを両方登録する場合は、一度ユーザーパスワードを削除し、スーパーバイザーパスワードを登録してからもう一度ユーザーパスワードを登録してください。
- スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードでは、違うパスワードを使用してください。
- パスワードを登録した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。
- スーパーバイザーパスワードは、BIOSセットアップの次の項目から設定することもできます。
 - ・ [Security] メニューの [BIOS Password] の [Supervisor]

参照 BIOSセットアップの詳細『BIOS編』

1 スーパーバイザーパスワードの登録、変更、削除

1. 「dynabook セッティング」を起動する

■ Windows 11の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [すべてのアプリ] → [dynabook セッティング] をクリックする

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [dynabook セッティング] をクリックする

パスワードを登録している場合は、スーパーバイザーパスワードで認証を行ってください。

2. [システムパスワード] で画面右側をスクロールし、[高度な設定] 右の をクリックする

スーパーバイザーパスワードが設定できるようになります。

スーパーバイザーパスワードの登録、変更、削除方法は、ユーザーパスワードと同様です。

なお、スーパーバイザーパスワードを削除すると、ユーザーパスワードも同時に削除されません。

2 | 一般ユーザーの操作を制限する

スーパーバイザーパスワードを登録すると、スーパーバイザーパスワードを知らないユーザーに対して、BIOSセットアップの管理などに制限を加えることができます。
スーパーバイザーパスワードを登録した状態で、次の手順を実行してください。

1. 「dynabook セッティング」を起動する

認証画面が表示されるので、スーパーバイザーパスワードで認証を行ってください。

2. [システムパスワード] で画面右側をスクロールし、[高度な設定] 右の ▼ をクリックする

3. [ユーザーポリシー] の [設定] ボタンをクリックする

4. 必要に応じて項目のチェックをはずす

5. [設定] ボタンをクリックする

6. メッセージが表示された場合は内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする

認証画面が表示されるので、スーパーバイザーパスワードで認証を行ってください。

7. [OK] ボタンをクリックする

3 HDDパスワードを設定する

* HDDパスワード機能搭載モデルのみ

HDDパスワードは、BIOSセットアップで設定します。

参照 『BIOS編 2章 設定項目』

1 注意事項

登録したパスワードの内容は、メモをとるなどして、安全な場所に保管しておくことを強くおすすめします。

お願い

- 万が一、登録したパスワードを忘れた場合、修理・保守対応ではパスワードを解除できません。この場合、ハードディスク/SSDは永久に使用できなくなりますので、有料にてハードディスク/SSDを交換します。ハードディスク/SSDが使用できなくなったことによる、お客様またはその他の個人や組織に対して生じた、いかなる損失に対しても、当社はいっさい責任を負いません。HDDパスワードの設定については、この点を十分にご注意ください。うえでご使用ください。

2 HDDパスワードの種類

HDDパスワードには、次の2種類のパスワードがあります。

HDDユーザーパスワードのみを登録することはできません。

■HDDユーザーパスワード

各パソコンの使用者自身が設定することを想定したパスワードです。

■HDDマスターパスワード

管理者などがパソコン本体の環境設定を管理／保守するために設定することを想定したパスワードです。

HDDマスターパスワードはHDDユーザーパスワードの代わりに使えます。HDDユーザーパスワードを忘れた場合でも、HDDマスターパスワードを入力してハードディスク/SSDにアクセスできます。

組織などでパスワードを用いた運用を検討した場合、各パソコンのユーザーに対してパソコン本体を配付する前に、あらかじめ管理者がBIOSセットアップでHDDマスターパスワードと仮のHDDユーザーパスワードを設定しておく必要があります。

3 HDDパスワードの登録

[Security] メニューの [HDD/SSD Password] の [Master] にHDDマスターパスワードを設定し、続けてHDDユーザーパスワードの設定を行います。

参照 ▶ BIOSセットアップの詳細『BIOS編』

4 HDDパスワードの変更

HDDマスターパスワードとHDDユーザーパスワードはそれぞれ変更することができます。
[Security] メニューの [HDD/SSD Password] の [Master] または [User] を選択し、パスワードを変更してください。

5 HDDパスワードの削除

HDDマスターパスワードの削除を行うと、同時にHDDユーザーパスワードも削除されます。
HDDユーザーパスワードのみを削除することはできません。

HDDパスワードを削除する場合は、次の手順で行ってください。

- ① BIOSセットアップで、[Security] メニューの [HDD/SSD Password] の [Master] を選択する
- ② 登録してあるHDDマスターパスワードを入力する
新しいパスワードを入力する画面が表示されます。
- ③ 何も入力しないで **ENTER** キーを押す

参照 ▶ BIOSセットアップの詳細『BIOS編』

4 パスワード入力時の注意

スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワード、HDDパスワードを入力するとき、続けて3回間違えると認証エラーとなり、自動的に電源が切れます。

パスワードを入力せずに約1分経過した場合も、自動的に電源が切れます。

この場合は、電源を入れ直して、再度パスワードを入力してください。

- お願い ● パスワード入力画面で認証エラーが発生して電源が切れると、タイマー*1、LAN*1、USB*1からの許可によるWake-upができませんので、電源を入れ直してください。
頻繁に認証エラーが発生し電源が切れるときは、スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワード、HDDパスワードの設定を解除することをおすすめします。

*1 本機能を搭載しているモデルのみ

2 WindowsパスワードとPIN

Windowsにサインインするためのパスワード／暗証番号として、WindowsパスワードとPINが用意されています。

指紋認証や顔認証を使用する場合、あらかじめ、WindowsパスワードとPINの設定を行っておく必要があります。

お願い ● Windowsパスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口に連絡してください。

Memo ● PINを忘れてしまったときは、Windowsパスワードでサインインしてください。
● WindowsパスワードやPINを登録した場合は、忘れたときのために必ずWindowsパスワードやPINを控えてください。
● WindowsパスワードやPINを入力するときは、コード入力や貼り付け（ペースト）などの操作は行わず、キーボードの文字キーを押して直接入力してください。

1 Windowsパスワードについて


Windowsにサインインするためのパスワードを、本マニュアルでは「Windowsパスワード」と呼びます。

管理者ユーザーのWindowsパスワードは、初めてパソコンを起動しWindowsセットアップを行う際に設定します。


Windowsパスワードの設定／変更方法

1. [スタート] ボタンをクリックする

■ Windows 11の場合

① [スタート] ボタン () をクリックする

■ Windows 10の場合

① [スタート] ボタン () をクリックする

2. [設定] をクリックする

3. [アカウント] → [サインイン オプション] → [パスワード] をクリックする

4. 画面の指示に従って、Windowsパスワードを設定／変更する


2 | PINについて

Windows/パスワードの代わりに、PIN(暗証番号)を入力してWindowsにサインインできます。PINを設定するには、あらかじめ、Windows/パスワードの設定を行っておく必要があります。


PINの設定／変更方法

1. [スタート] ボタンをクリックする

■ Windows 11の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする

2. [設定] をクリックする

3. [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする

4. PINを設定／変更する

■ Windows 11の場合

- ① [PIN (Windows Hello)] をクリックする
- ② 画面の指示に従って、PINを設定／変更する

■ Windows 10の場合

- ① [Windows Hello 暗証番号 (PIN)] をクリックする
- ② 画面の指示に従って、PINを設定／変更する

3 指紋認証を使う

* 指紋センサー搭載モデルのみ

「指紋認識 (Windows Hello)」または「Windows Hello指紋認証」を使用すると、指紋センサーに指紋を読み取らせることで、Windowsにサインインできるようになります。

Windows/パスワードやPINの代わりに、指紋の情報で、本人であることを認証する機能です。

Memo ● 登録できる指紋データは全ユーザー合わせて最大20本または10本です(モデルにより異なります)。

1 指紋を登録する


指紋を登録するには、指紋を登録するユーザーアカウントに対して、Windows/パスワードとPINが必要です。

参照 ▶ 設定方法 [「Windows/パスワードとPIN \(42ページ\)」](#)


1. 指紋を登録するユーザーアカウントでサインインする

2. [スタート] ボタンをクリックする

■ Windows 11の場合

① [スタート] ボタン () をクリックする

■ Windows 10の場合

① [スタート] ボタン () をクリックする

3. [設定] をクリックする

4. [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする

5. [Windows Helloへようこそ] 画面を表示する

■ Windows 11の場合

① [指紋認識 (Windows Hello)] → [セットアップ] をクリックする

■ Windows 10の場合

① [Windows Hello指紋認証] → [セットアップ] をクリックする

6. [開始する] をクリックする

[ユーザーを確認しています] 画面が表示されます。

7. [PIN] にPINを入力する

[指紋センサーにタッチ] 画面が表示されます。

8. 指紋センサーに指紋を読み取らせる

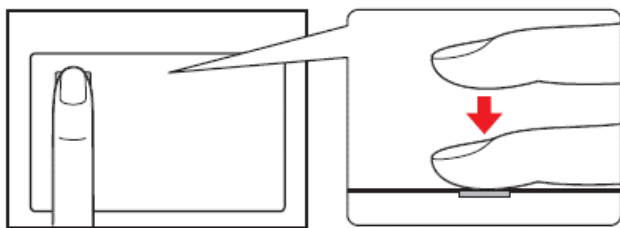
指紋は数回スキャンする必要があります。

[次は別の角度で行ってください] 画面が表示された場合は、指の縁を読み取るために角度を変えて [すべて完了しました。] 画面が表示されるまでスキャンしてください。

続けてほかの指紋を追加する場合は、[別の指を追加] をクリックしてください。

Memo 指紋センサーに指紋をうまく読み取らせるには

指紋センサーに対して指をまっすぐ出し、指を寝かせた状態で、指紋センサーの中央に当て、離してください。



9. [すべて完了しました。] 画面が表示されたら、[閉じる] をクリックする

Memo

● [閉じる] をクリックして登録を終了後、ほかの指紋を追加する場合

① [サインインオプション] で、次の操作を行う

・ Windows 11の場合

1. [指の追加] をクリックする

・ Windows 10の場合

1. [他の指紋を追加] をクリックする

② 手順 6 からの操作を繰り返す

2 指紋認証を行う

登録した指紋を指紋センサーに読み取らせることで、Windowsへサインインできます。

1. ロック画面（画面中央または左下に大きく日時が表示されている状態）やサインインを求められている画面で、登録した指紋を指紋センサーに読み取らせる

Windowsにサインインします。

ユーザーパスワードの代わりに指紋で認証を行う（起動認証／シングルサインオン）

起動認証とは、パソコンの起動時に、ユーザーパスワードの代わりに、指紋認証を使用できる機能です。


また、シングルサインオンを有効にすると、起動認証後にWindowsにも自動的にサインインすることができます。シングルサインオンは、起動認証時に使用したWindowsのアカウントで行われます。

① ユーザーパスワードを登録する

参照▶ [「ユーザーパスワードの登録（34ページ）」](#)

② 「dynabook セッティング」を起動する

● Windows 11の場合

1. [スタート] ボタン () をクリックする
2. [すべてのアプリ] → [dynabook セッティング] をクリックする

● Windows 10の場合

1. [スタート] ボタン () をクリックする
2. [dynabook セッティング] をクリックする

認証画面が表示されるので、ユーザーパスワードで認証を行ってください。

③ [システムパスワード] の [起動認証設定] で、[起動認証は、コンピューター起動時にユーザーパスワードを入力する代わりに指紋で認証できるようにします。] にチェックを付ける 「変更した設定を反映するにはパソコンの再起動が必要です。」というメッセージが表示されます。

④ [はい] を選択する

本製品が再起動され、起動認証が有効になります。

Memo


- 手順④で本製品の再起動を行うと、[シングルサインオンは、起動認証後、認証が成功した指紋が登録されているWindowsのアカウントで自動的にサインインします。] が設定できるようになります。

3 指紋データを消去する


パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、登録した指紋データを消去してください。指紋データの消去は、次のように行ってください。

1. [スタート] ボタンをクリックする

■ Windows 11の場合

① [スタート] ボタン () をクリックする

■ Windows 10の場合

① [スタート] ボタン () をクリックする

2. [設定] をクリックする

3. [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする

4. 指紋データを削除する

■ Windows 11の場合

① [指紋認識 (Windows Hello)] → [削除] をクリックする

■ Windows 10の場合

① [Windows Hello 指紋認証] → [削除] をクリックする

お願い 指紋データの消去にあたって

● 指紋データは、ユーザー（アカウント）ごとの消去が必要です。

4 顔認証を使う

* 顔認証センサー搭載モデルのみ

「顔認識 (Windows Hello)」または「Windows Hello顔認証」を使用すると、顔認証センサーに顔の情報を読み取らせることで、Windowsにサインインできるようになります。WindowsパスワードやPINの代わりに、顔の情報で、本人であることを認証する機能です。

1 顔の情報を登録する


顔の情報を登録するには、顔の情報を登録するユーザーアカウントに対して、WindowsパスワードとPINが必要です

参照▶ 設定方法 [「Windows/パスワードとPIN \(42ページ\)」](#)


1. 顔を登録するユーザーアカウントでサインインする

2. [スタート] ボタンをクリックする

■ Windows 11の場合

① [スタート] ボタン () をクリックする

■ Windows 10の場合

① [スタート] ボタン () をクリックする

3. [設定] をクリックする

4. [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする

5. [Windows Helloへようこそ] 画面を表示する

■ Windows 11の場合

① [顔認識 (Windows Hello)] → [セットアップ] をクリックする

■ Windows 10の場合

① [Windows Hello 顔認証] → [セットアップ] をクリックする

6. [開始する] をクリックする

[ユーザーを確認しています] 画面が表示されます。

7. [PIN] にPINを入力する

顔認証センサーに映った画像が表示されます。

8. 顔認証センサーの正面に顔を向ける

参照▶ 顔認証センサーの位置『取扱説明書 1 章 1 各部の名称』

顔認証センサーをまっすぐ見続けてください。

[すべて完了しました。] 画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

9. [すべて完了しました。] 画面が表示されたら、[閉じる] をクリックする

2 顔認証を行う

顔の情報を登録すると、顔認証センサーに顔を向けることで、Windowsへサインインできます。

1. ロック画面（画面中央または左下に大きく日時が表示されている状態）やサインインを求められている画面で、顔認証センサーの正面に顔を向ける


Windowsにサインインします。

3 顔データを消去する


パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、登録した顔データを消去してください。顔データの消去は、次のように行ってください。

1. [スタート] ボタンをクリックする

■ Windows 11の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする

■ Windows 10の場合

- ① [スタート] ボタン () をクリックする

2. [設定] をクリックする

3. [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする

4. 顔データを削除する

■ Windows 11の場合

- ① [顔認識 (Windows Hello)] → [削除] をクリックする

■ Windows 10の場合

- ① [Windows Hello 顔認証] → [削除] をクリックする